

2024 年度化学産業論アンケート結果

1, 化学産業論講座の評価 (受講者総数: 202 人)

設問	評価点 全受講者平均
講義を受けて化学産業（企業）への関心は上がりましたか？ (5 : 上 ⇔ 1 : 下)	4. 3
講義は難しかったですか？ (5 : 難 ⇔ 1 : 易)	2. 9
講義全体に対する満足度は？ (5 : 上 ⇔ 1 : 下)	4. 1

2, 講義の感想 (抜粋)

(1) 大阪公立大学

- ✓ 実際に働いている方に話を聞ける機会はとても貴重。就職説明会では企業紹介のみで各部署でどういったことをするのか聞いてもよくわからないとの返答あり。
- ✓ この講義を受けて、一言で化学産業と言っても広い分野があり、選択肢がとても広いと感じた。また、自分が想像していた以上に基礎的な知識を研究に活かしている場面も多く、学部の時に講義で学んだことや、今研究で身につけている知識は社会で働く時にどこかの場面で役に立つのだろうと思いました。
- ✓ 化学の分野の知識が深まるだけでなく、様々な企業の研究開発における実情などが聞けて自身の将来像に実感がわいた。また、日々生きていく中で必要なことや仕事において大事な思考の仕方を多く聞けて大変良い授業だったと感じた。

(2) 東京大学

- ✓ 化学産業が現在まで人類に対してどのように貢献しているのか、今後担っていくべき役割を改めて考えさせられた。普段深く考えないことや知らなかったことが授業に盛り込まれており、非常に興味深かった。
- ✓ 化学企業において、営業利益をあげること、価値を提供することで社会に還元することの二つが非常に難しい課題であると同時に、非常に重要なことであると感じた。
- ✓ 実際の化学産業が社会にもたらす変化を知ること、普段の授業ではなかなか得られない、化学を学ぼうと思った原点である「役に立つものを作りたい」という気持ちやワクワク感を思い出しました。
- ✓ 話をしてくださった方々は化学的な知識に加えて+ α の何かを身につけた方が多く、

現在知識を身につけようとしているだけの自分では足りないものが多いと感じた。+ α はすぐに身につくものではないと思うので、化学産業において何が足りないのかをちょっとは考えつつ、今は知識を蓄えることに注力しようと思った。

- ✓ 地球温暖化という一つのテーマだけでも様々なアプローチの仕方があることがわかりました。様々な分野の人が様々な視点から環境問題を解決に導けば、まだ地球はもちそうだなとうれしく思いました。自分もそこに貢献できたらと願います。
- ✓ 講義の受講を通して、**化学産業についての理解を深めることができた**点が有意義であった。化学産業のサプライチェーンや企業内の部門などについての話を聞くことで、**化学企業内で行われている具体的な仕事を学ぶことができ、働き方に対するイメージを持つことができた**。また化学産業の社会の中での立ち位置について学びを得ることができた。**化学技術を通して、現在人類が抱える課題を解決するソリューションを提供し得ることが分かり、化学産業への関心が高まった**。
- ✓ 今回の講義を通して地球温暖化問題の解決を行っている企業の活動についても興味が湧いた。
- ✓ 体系だった講義で非常にわかりやすかった。内容は発展的だったが、理解しやすかった。

(3) 神戸大学

- ✓ 化学業界について学ぶ機会を与えていただき、とても感謝している。化学会社での研究は大学での研究とは違うということは以前からわかりましたが、それを学ぶ機会がなかった。今回の講座では、先生方の丁寧な説明により、**大学での研究と企業での開発・研究との違いをより深く理解することができた**。
- ✓ 就職活動をする際に企業の知識が足りていないと感じていたため、今回の講義は非常に価値あるものだった。
- ✓ 講義を通して、各企業の事業の理解だけでなく、化学の企業全体に求められていることや、今の情勢を知ることができた。**来年度以降もぜひ就職活動中の M1 の学生に受けてほしいと思った**。
- ✓ **今回学んだ内容は今だけではなく今後の人生においても生かせる内容であった**。
- ✓ 総論 I～IV で化学産業全体の歴史や今後解決すべき課題、イノベーションを起こす考え方について理解することができた。化学産業の全体像を掴めたことで、より化学企業への関心度が上がりました。また、各論ではそれぞれの企業の研究開発の歴史や開発体制について知ることで、各企業の共通点と相違点が理解できた。

以上